

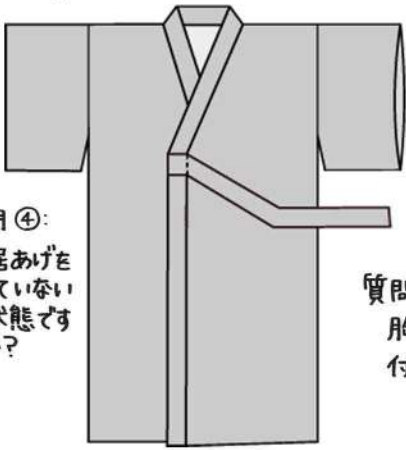
お宮参り用祝い着を 七五三用に仕立て直すポイント☆

当日のお着物
以外のお持物は
別紙を参照
ください!

★生後1ヶ月頃のお宮参り用祝い着(のしめ)をご持参のお客様へ★
お祝い着と3才用七五三の着物は同じ1つ身ですがお仕立て直しが必要になります。
※ご自宅で お母様にもできるような省略した方法でご説明させていただいております。

お宮参りのお祝い着チェックポイント

質問③: 肩あげをしていますか?



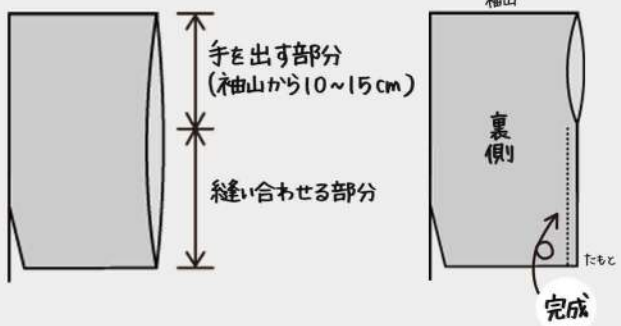
質問④: 裾あげをしていない状態ですか?

質問①: 袖口は裾まで開いている状態ですか?

質問②: 胸元の紐は付いたままですか?

① 袖の縫い付け方

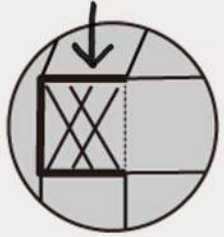
★縫い留める際は着物の色に合った糸をご使用下さい。
★裏側から手を出す部分を残して縫い留めます。



② 胸元の紐の取り方

★取りつけてある紐の部分(太線)の縫い付けてある糸をほどいて取り外して下さい。

★取り外した紐は、元の位置に縫い付け本ば、再びお宮参り用の祝い着として使えるので保管しておくことをオススメいたします。

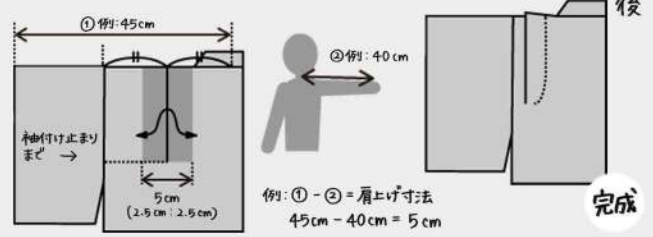


★飾り紐はそのままでOK!



③ 肩あげのやり方

★中心から袖口までの長さ①から背骨から手首までの長さ②を差し引いた長さ(肩あげ寸法分)をつまんで縫って下さい。



④ 裾あげのやり方

★きもの丈 - 着丈 = 裾あげ寸法
★裾あげ寸法の2分の1を上げ山として、【首から上げ山: 上げ山からくるぶしの位置】が同じ長さになるようにして、つまんで縫って下さい。
★こねが基準ですが、着物の柄に注意しながら作業して下さい。
★裾あげは着付けの際に腰ひもで作れますので、必ずしもあげていなくても大丈夫!! (腰ひもを1~2本余分にお持ち下さい。)
★裾あげをしておいた方が着くずはほしくなります。

